



① 山吹書房

平成29(2017)年にオープンした「山吹書房」。歴史を専門に、郷土史・時代小説など、比較的読みやすく、趣味として歴史を楽しめる本を中心に収集している。店内は細長い造りで、元は倉庫として使われていた所を店舗としたそう。自分の住んでいる地域の歴史を調べたい、大河ドラマの登場人物についてもっと知りたい、休憩時間や通勤・通学の車内など、ちょっとした時間に読める歴史の本が欲しいという方におすすめ。

080-9261-4637
千代田区神田神保町1-39-1



② 三茶書房

「三茶書房」は昭和23年(1948)に東京・三軒茶屋で開業、同39年より神田神保町に店を構える。初代は文学に造詣が深く、2代目店主は「同業者が酒を飲んでいるときも資料を見るのが楽しい」という歴史文献の目利き。価値ある未発表資料を発掘する醍醐味を味わう。明治新政府による第1回帝国議会が開かれた初代・国会仮議事堂は2カ月後に焼失、その幻の設計図2枚や、西田幾多郎と和辻哲郎の書簡3通などを膨大な古書資料の山から発掘し、報道で話題になった。明治～昭和の歴史文献が積まれた2階への入店は予約制のみ。

03-3291-0453
千代田区神田神保町1-1



③ 慶文堂書店

図書館や博物館など公の機関をはじめとする専門家たちが、史料集めの際に頼る歴史の専門店。時代小説などを書く小説家や研究書の著者など、本を書く側の人が時代考証のための史料を求めて訪れることも多く、松本清張もその一人。老舗が並ぶ靖国通り沿いの中で、一見すると左右の古本屋に挟まれてすこし窮屈そうな小さな店だが、古書店を外見だけで判断してはならない。日本史・郷土史・東洋史を中心に宗教や美術、文学作品までもが書棚には並んでおり、さらに倉庫では店内の何十倍にもおよぶ書籍、価値の高い史料の数々が保管されている。

03-3292-0281
千代田区神田神保町1-1



④ 一心堂書店

店頭には山積みされた全集もの、店内に入るとやたらに大判の書籍が目につく。日本の美術書が多いが、その中で特に充実しているのが刀剣や甲冑に関するものだ。向かって右側の棚に揃えられた武具関連の書籍の中には、写真集も数多くあり、それを見ると刀剣や甲冑の美術品としての価値の高さを改めて思い知らされる。刀剣に関しては押形(刀剣の上に和紙を押し当てて、墨で形や茎(なかご)の名を刷りとり、刃文などを描きこんだもの。魚でいうところの魚拓のようなもの)集も充実。武具、武道関連の他には、陶芸や茶道、工芸の本も多い。

03-3291-1300
千代田区神田神保町1-3



⑤ 南海堂書店

世界中の歴史の本に関する南海堂書店の品揃えは研究者からも一目置かれる存在だ。店内には世界史・西洋史・東洋史と分けられた上で、さらに地域ごとに細かく分類されている。蔵書の多さはまるで図書館のよう。レンガ造りの外観や広いガラス張りの入り口はもちろん、書棚がちょうど大人の目線の高さまでという圧迫感のなさ、この店を居心地の良い空間にしている。いつまでも熱心に書棚を見入るのは年配の客ばかりではない。店頭に置く本は、まずタイトルを重視するという。中身を分かりやすく表しているタイトルの本には良書が多いからだ。

03-3261-3216
千代田区神田神保町2-3



⑥ 長島書店 神保町店

考古学や歴史全集に注力する正統派古書店。買い取りも積極的に行っている。店内には『ローマ帝国衰亡史 全11巻』をはじめとする歴史関連の全集がいたるところに積み上げられ、『邪馬台国研究総覧』などの古代史関係の書籍が並ぶ。正統な歴史書・研究書だけでなく、『戦国名将の居城』といった、歴史好きの好奇心をかきたてる本もある。世相風俗から見た歴史にも目を配っているようで、『日本民俗文化体系 全15巻』、といったものである。哲学・思想書にも力を入れており、法政大学出版局やみすず出版の正統な哲学書や研究書も並んでいる。

03-3512-8115
千代田区神田神保町2-5



⑦ 田村書店

仏独文学を中心にヨーロッパの哲学・歴史・美術に関する書籍、洋書の稀覯書を扱う専門店。入口両脇には神社の千社札のように、全集の値札がこれでもかと言わんばかりに、数限りなく貼られている。扱う全集の数が多すぎて、実物はお店の人に頼んで出してもらわなければならないほど。1階には日本の近代文学や、西洋の古典を中心とした翻訳もの、哲学書やその研究書、2階には洋書が並ぶ。蒐集家には料理本(原書)、挿絵本、美麗装丁本が特に人気。店頭では日本一質が高いと言われる特価セールが行われ、いつも多くの人でにぎわっている。

03-3291-0563
千代田区神田神保町1-7



⑧ 村山書店

建築・理工系の書籍が多いが、心理・哲学・宗教・歴史・法律など人文系も揃う。コンディションのいい専門書をできるだけ安く提供する店で、発売からさして時間の経っていない新刊本もいち早く店頭と並ぶ。特に講談社学術文庫に関しては他の追随を許さないほど力を入れており、散り散りにならぬようまとめて引き取ることで在庫を支え、日本中の「探している人」の要望に応えている。それに加えてクラシック音楽やカメラ、ガイドブックなど趣味の本も豊富。店先には国内外の怪談・奇談小説などホラー関連の書籍が一箱程度並んでいることも。

03-3291-1617
千代田区神田神保町1-3



⑨ 五萬堂書店

戦前の昭和10年代から昭和40年代の文系学術書を中心に取り扱っており、一般では手に入らないもの、入りにくいものが本棚に並んでいる。来店するのは研究者が多い。この店の特徴は、歴史に関する絶版書を多く取り揃えているところ。氏名・姓名史、地名史、地方史などの本も充実している。氏名・姓名史の本が並べてある書棚には、自分の名前と歴史の関係を解明できそうな興味深い本が並ぶ。具体的にどのような本を探しているのか店主に相談すればたいてい出してきてくれるが、不在の場合があるので来店の際はあらかじめ連絡したほうがよい。

03-5259-5765
千代田区神田神保町1-28 近藤ビル1階



⑩ 叢文閣書店

江戸期から近代までに出版された東洋の歴史書を中心に扱う歴史専門店。陳列方法は時代別ではなく、インドネシア、カンボジア、フィリピン、台湾、韓国、朝鮮、沖縄、北海道など地域別。その地域におけるある時代の風俗や生活の諸相、人びとの思想哲学を詳述した書物が多く、どれも背表紙を見るだけでその年季の入りようが分かる貴重なもの。店主の珍品への追求心や、その結果充実した専門書の棚に引き寄せられ、足しげく通うのは研究者がほとんど。中には、ヨーロッパやアメリカ、韓国など海外からはるばる資料を探し求めて来店する人も。

03-3233-2332
千代田区神田神保町1-9 大雲堂ビル2階



⑪ アカシヤ書店

囲碁と将棋書の専門店。店内には、定石(定跡)など囲碁将棋の戦術に関するものから、歴史を記したものまでがずらりと並ぶ。戦術本は著者別に陳列され、中でも、羽生善治、谷川浩司などトップ棋士の書物は、書棚2段以上にもわたって置かれている。勝負の世界に一息ついたかったら、詰め将棋の本を。レジ奥の棚に並ぶ江戸時代の稀覯本の中には、初代名人・大橋宗桂が将軍に献上するために作った問題集や、早世しなければ名人になっていたとされる伊藤素寿の問題集もある。また、店の奥には仙術など精神世界関連、易、オカルトなどの本も。

03-3219-4755
千代田区神田神保町1-8 野口第一ビル



⑫ 手塚書房

古典芸能や演劇関係の書籍ならこの専門店へ。すずらん通り東京堂書店の裏に位置するこの店では、歌舞伎・能・文楽・邦楽・舞踊・落語などの伝統芸能、および民俗・説話・美術・文学の書籍・CD・DVDを販売している。買い取りも積極的に行うため、直接問い合わせるのがおすすめ。歴史がある分、敷居が高く分かりづらいように思える伝統芸能だが、この店には専門的な研究書だけでなく、歌舞伎・能狂言・落語などをより楽しむための手引きとなる本や、当時の風俗について学べる本も並んでおり、初心者でも充分にその世界を味わうことができる。

03-3294-3338
千代田区神田神保町1-27 阿部ビル1F



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

